

令和3年度 川崎市企業市民交流事業 実施報告書



川崎市企業市民交流事業推進委員会

川崎市役所

目次

報告書の発刊にあたって

I 令和3年度 川崎区企業市民交流事業 実施報告

1 川崎区企業市民交流事業推進委員会の実施状況	1
2 部会の実施状況	1
(1) 魅力発信部会	1
(2) 交流推進部会	2
3 川崎区企業市民交流事業推進委員会研修会	2
4 事業内容	3
「かわさき区の宝物」を活かした企画の実施	
(1) 「川崎臨海部の夢発見！バスツアー」の実施	3
(2) 「かわさき区の宝物」をPRする企画の実施	4
生活市民と企業市民の交流及び企業の社会貢献の推進に資する取組の実施	
(1) 川崎区企業市民による中学校出前授業の実施	4
(2) 「知ろう！学ぼう！かわさき企業市民交流 Day」の実施	8
ネットワーク活動・情報発信等	
「ほっとネット」の発行	9
かわさき産業ミュージアム関連事業の実施（委員会協力関連事業）	
かわさき産業ミュージアム講座の実施	9

II 資料

・ 川崎区企業市民交流事業実施要綱	1 2
・ 川崎区企業市民交流事業推進委員会設置要綱	1 4
・ 川崎区企業市民交流事業 これまでの活動経過	1 6

報告書の発刊にあたって

川崎区企業市民交流事業推進委員会

委員長 島田潤二



川崎区企業市民交流事業は、川崎区にお住まいの方々を生活市民、川崎区で操業する企業の方々を企業市民と捉え、川崎区役所を加えた三者が一体となってまちづくりを推進するため平成7年度から進められている事業であり、川崎区地域課題対応事業に位置づけられています。

この事業に取り組むために設置している川崎区企業市民交流事業推進委員会は現在、区内14の企業、16の団体及び公募の委員で構成しており、各委員は「魅力発信部会」、「交流推進部会」のいずれかに所属し、各々の課題について検討し、事業の企画等を行ってまいりました。

令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でしたが、状況に応じて感染症拡大防止対策を適切に行った上で取組を進めてまいりました。毎年好評いただいている「臨海部の夢発見！バスツアー」、「かわさき産業ミュージアム講座」の開催、新型コロナウイルス感染症を考慮し、バスではなくウォーキングにて「かわさき産業ミュージアムツアー」の開催、「中学校出前授業」の実施に加え、生活市民と企業市民との直接的な交流機会をより多く持ち、企業の社会貢献を推進し、本委員会のPRとなるような場として、「知ろう！学ぼう！かわさき企業市民交流Day」を開催するとともに、昨年度発行して好評だった「かわさき区魅力発見宝物ウォーキングガイドブック」を増刷いたしました。

本書におきましては、委員会の令和3年度を取組をまとめておりますが、御覧になった方々には、事業への御意見、御提案をお寄せくださいますようお願い申し上げます。お寄せいただいた御意見等につきましては、生活市民と企業市民の協働によるまちづくりに活かすとともに、地域特性を活かした川崎区独自の取組として推し進めていきたいと存じます。

最後になりましたが、本年度の事業を進めるにあたり御協力いただきました企業・団体の皆様に深く御礼を申し上げます。

令和3年度 川崎区企業市民交流事業 実施報告

川崎区では、企業と市民の協働のまちづくりを推進するため、平成7年度から企業市民交流事業を実施し、生活市民と企業市民の交流の場として設立された「企業市民交流事業推進委員会」は、企業の地域社会貢献活動の機運を高め、企業・市民協働のまちづくりを実践するための主体として、事業を展開している。

かわさき区の宝物として地域の様々な地域資源を区内外にPRしてきた当委員会のこれまでの活動を踏まえつつ、委員全員がいずれかの部会（「魅力発信部会」「交流推進部会」）に所属し様々な企画について検討し、より川崎区をPRするとともに、区民の地域への愛着と誇りを高められるような様々な事業を推進した。

1 川崎区企業市民交流事業推進委員会の実施状況

第1回会議 5月26日（水）

- ① 役員について
- ② 令和2年度企業市民交流事業実施報告について
- ③ 令和2年度川崎区企業市民交流事業会計報告・監査報告について
- ④ 令和3年度川崎区企業市民交流事業計画（案）について
- ⑤ 令和3年度川崎区企業市民交流事業予算（案）について
- ⑥ 令和3・4年度川崎区企業市民交流事業推進委員会における設置部会について

第2回会議 11月25日（木）

- ① 令和3年度企業市民交流事業・各部会の中間報告
- ② 令和3年度川崎区企業市民交流事業推進委員会研修会の開催について
- ③ 川崎区制50周年事業の紹介

第3回会議 3月14日（月）

- ① 令和3年度川崎区企業市民交流事業実施報告について
- ② 令和3年度川崎区企業市民交流事業収支決算見込報告について
- ③ 令和3年度川崎区企業市民交流事業推進委員会各部会の実施状況報告について
- ④ 令和4年度川崎区企業市民交流事業予算について

2 部会の実施状況

（1）魅力発信部会

第1回会議 6月8日（火）

- ① 部会長選出
- ② 概要及び今年度の取組予定について
- ③ 「産業ミュージアム講座・ツアー」について

- ④ 「かわさき区の宝物」をPRするための取組について

第2回会議 8月6日(金)

- ① 「産業ミュージアム講座・ツアー」について
- ② 「かわさき区の宝物」をPRするための取組について

第3回会議 2月25日(金)

- ① 「産業ミュージアム講座・ツアー」の実施結果と次年度について
- ② 「かわさき区の宝物」をPRするための取組結果と次年度について

(2) 交流推進部会

第1回会議 6月18日(金)

- ① 部会長選出
- ② 交流推進部会について
- ③ 「川崎臨海部の夢発見！バスツアー」について
- ④ 企業市民による中学校出前授業について
- ⑤ 生活市民と企業市民との交流イベントについて
- ⑥ その他（区制50周年事業の取組に関するアイデアの募集（企画課）等）

第2回会議 9月7日(火)

- ① 「川崎臨海部の夢発見！バスツアー」について
- ② 企業市民による中学校出前授業について
- ③ 「知ろう！学ぼう！かわさき企業市民交流Day」について
- ④ その他（宝物ウォーキングガイドブックの増刷について等）

第3回会議 2月14日(月)

- ① 令和3年度事業実施報告（振り返り）
- ② 交流推進部会での次年度の取組について（交流イベント）
- ③ 交流推進部会での次年度の取組について（バスツアー）
- ④ 令和3年度「川崎区企業市民による中学校出前授業」の振り返り及び次年度に向けた状況整理

3 川崎区企業市民交流事業推進委員会研修会

委員会参加企業や関係施設等への訪問及び委員相互の意見交換等を通じ、企業の社会貢献を推進し、生活市民と企業市民との交流を推進する川崎区企業市民交流事業の目的の達成に向け、事業展開の参考とするため、毎年1回、研修会を実施している。

令和3年度は、川崎区東扇島堀込部埋立事業の視察及び臨港道路東扇島水江町線の概要紹介を1月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、中止とした。

4 事業内容

■「かわさき区の宝物」を活かした企画の実施

(1) 「川崎臨海部の夢発見！バスツアー」の実施

①実施内容

日頃、区民が足を運ぶ機会の少ない臨海部を身近に感じ、「川崎臨海部の産業」や「ものづくり文化」、「地球環境保護と経済活動」について関心をもってもらうことを目的に、川崎区内在住・在学の小学校4～6年生とその保護者を対象としたバスツアーを2日間開催した。

【第1回】ものづくりと工場夜景コース

日 時 12月18日(土) 14:00～18:10
見学先 日本ゼオン(株) 川崎工場
JFEスチール(株)東日本製鉄所
工場夜景

【第2回】クリーンエネルギーと工場夜景コース

日 時 12月19日(日) 14:00～18:10
見学先 環境総合研究所
川崎キングスカイフロント東急REIホテル
川崎マリエン
工場夜景

②広報・PR活動について

(ア) 市政だより川崎区版11月1日号への掲載

(イ) 川崎区役所ホームページでのPR広報

(ウ) ほっとネットで区内小学校4～6年生に配布

※ 小学校校長会川崎地区会議への児童に対する周知依頼

(エ) 報道投込み

(2) 川崎区をPRする企画の実施

① 宝物クラフトを活用したPRの取組

来年度の区制50周年及び再来年度の東海道起立400年事業との連携を考慮して、平成24年度製作した「東海道川崎宿」提灯クラフトを復刻させるとともに、既存のクラフト・ポップアップカードを活用した魅力発信を行った。

②かわさき区魅力発見宝物ウォーキングガイドブックの発行

ウォーキングガイドブックを6000部増刷した。

■ 生活市民と企業市民の交流及び企業の社会貢献の推進に資する取組の実施

(1) 川崎区企業市民による中学校出前授業の実施

多くの企業が参画する川崎区企業市民交流事業推進委員会のメリットを活かし、委員会参加企業等の社員が講師となって中学生を対象に「働くこと」について主体的に考えられるような機会を設け、企業の地域貢献の推進とともに中学生のキャリア意識の醸成につながる事業を実施。今年度は希望があった7校のうち、新型コロナウイルス感染拡大の影響で計5校の実施となった。桜本中学校については実施予定の1月21日がまん延防止措置期間になってしまったため学校に部外者が入れなくなってしまったため、桜本中学校からの提案で、オンラインにより、テーマを「桜本周辺にどのような企業や事業所があるか知り、自分たちならどのような仕事で地域に貢献するか考える。」に変えて、参加できる企業だけで独自に開催された。

○日程及び実施校

(第1回)

6月22日(火) 川崎市立臨港中学校

(第2回)

7月6日(火) 川崎市立川崎中学校

(第3回)

10月14日(木) 川崎市立川崎高等学校附属中学校

(第4回)

11月17日(水) 川崎市立田島中学校

(第5回)

12月10日(金) 川崎市立京町中学校



※渡田中学校は中止、桜本中学校は学校独自のオンライン授業を実施

○対象生徒

2学年生徒

○講師

川崎区企業市民交流事業推進委員会参加企業・団体から推薦を受けた企業等の社員等

(第1回) 臨港中学校

17企業・団体 ※順不同

海事代理士新井海事法務事務所／東日本旅客鉄道株式会社川崎駅／川崎区社会福祉協議会／東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社／／NTT 東日本川崎支店／株式会社日本触媒川崎製造所／味の素株式会社川崎事業所／昭和電工株式会社川崎事業所／川崎信用金庫／株式会社横浜銀行／ENEOS株式会社川崎製油所／神奈川東部ヤクルト販売株式会社川崎カンパニー／株式会社JERA川崎火力発電所／JFE スチール／東京ガス株式会社川崎支店／保育・子育て総合支援センター／カワスイ 川崎水族館

(第2回) 川崎中学校

18 企業・団体 ※順不同

公益財団法人かわさき市民活動センター／海事代理士 新井海事法務事務所／東日本旅客鉄道株式会社川崎駅／川崎区社会福祉協議会／東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社／／NTT 東日本川崎支店／株式会社日本触媒川崎製造所／味の素株式会社川崎事業所／昭和電工株式会社川崎事業所／川崎信用金庫株式会社／横浜銀行／神奈川東部ヤクルト販売株式会社川崎カンパニー／株式会社JERA川崎火力発電所／JFE スチール／東京ガス株式会社川崎支店／JA セレサ川崎／保育・子育て総合支援センター／カワスイ 川崎水族館

渡田中学校

中止

(第3回) 川崎高等学校附属中学校

17 企業・団体 ※順不同

公益財団法人かわさき市民活動センター／海事代理士 新井海事法務事務所／東日本旅客鉄道株式会社川崎駅／川崎区社会福祉協議会／東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社／NTT 東日本川崎支店／株式会社日本触媒川崎製造所／味の素株式会社川崎事業所／川崎信用金庫／株式会社横浜銀行／神奈川東部ヤクルト販売株式会社川崎カンパニー／株式会社JERA川崎火力発電所／JFE スチール／東京ガス株式会社川崎支店／JA セレサ／川崎保育・子育て総合支援センター／カワスイ 川崎水族館

(第4回) 田島中学校

19 企業・団体 ※順不同

公益財団法人かわさき市民活動センター／海事代理士 新井海事法務事務所／東日本旅客鉄道株式会社川崎駅／川崎区社会福祉協議会／東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社／NTT 東日本川崎支店／株式会社日本触媒川崎製造所／味の素株式会社川崎事業所／昭和電工株式会社川崎事業所／川崎信用金庫／株式会社横浜銀行／ENEOS株式会社川崎製油所／神奈川東部ヤクルト販売株式会社川崎カンパニー／株式会社JERA川崎火力発電所／JFE スチール／東京ガス株式会社川崎支店／JA セレサ川崎／保育・子育て総合支援センター／カワスイ 川崎水族館

(第5回) 京町中学校

11 企業・団体 ※順不同

東日本旅客鉄道株式会社川崎駅／川崎区社会福祉協議会／味の素株式会社川崎事業所／昭和電工株式会社川崎事業所／株式会社横浜銀行／神奈川東部ヤクルト販売株式会社川崎カンパニー／株式会社JERA川崎火力発電所／JFE スチール／東京ガス株式会社川崎支店／JA セレサ川崎／保育・子育て総合支援センター

桜本中学校は、学校側で独自開催

3 企業参加

味の素株式会社川崎事業所／株式会社 J E R A 川崎火力発電所／カワスイ 川崎水族館

○主な感想（第1回）臨港中学校

〔生徒側〕

- ・ 今まで働くというイメージは、社会に貢献するためなどの人のためというイメージが強かったです。ですが、お金のため、生きていくためなど自分のためというイメージももてました。
- ・ 働くことは、生活のため、目標実現のため、興味のため、そして自分の成長など自分のために働くことが多いこと、それから社会との関わりが大切ということが分かりました。
- ・ 私も支えられるような大人になって働いていきたいなと思いました。

〔講師側〕

- ・ グループワークでは正解のない難しい議題であったのにも関わらず、一人一つ以上自分の意見を書いてくれ、グループ内で共有していただけたため、とても有意義な時間になったと感謝しています。
- ・ 報告会における生徒の発表内容が、自分が伝えたかったことであったので、非常に嬉しかった。
- ・ 人に伝える難しさを改めて実感することができ勉強になりました。

○主な感想（第2回）川崎中学校

〔生徒側〕

- ・ やりがいを感じたのは「ありがとう」と感謝された時と言っていて、私も将来たくさんの人からの「ありがとう」をもらえるような職業に就きたいと思いました。
- ・ 初めは大変そうとかマイナスなイメージが多かったけど、今は人のためや自分のためになるなどプラスなイメージに変わった。
- ・ 自分が最初思っていた「働く」とはまた別のことがあるということが分かりました。今回興味を持って聞いたことを学校生活でもいかせるようにがんばります。

〔講師側〕

- ・ 初めての参加でしたが、生徒さんたち皆さんがとてもまじめな態度で聞いてくださったので感心しました。ですので、その期待に大人としてきちんと応えることができているか、自分自身の仕事に対する姿勢を見直す機会となり大変ありがたいと思いました。
- ・ 準備を進める中で、自身の社会人人生を振り返ることができ、働くことの原点を再確認することができました。
- ・ やはり少人数の方が、「対話」できるなと感じました。

○主な感想（第3回）川崎高等学校附属中学校

〔生徒側〕

- ・ 今までは働くということが具体的にどういうことなのか分かっていませんでしたが、今回のお話を聞いたことで、どんな仕事も人のためになるということを知り、働くことへの興味がとてもわきました。
- ・ 人間関係など大変なこともあるが、思いやりを持ち、笑顔でいれば楽しく働くことができることがわかった。
- ・ 講師の方がおっしゃっていたように、たくさんのかんことを経験して、自分が楽しめるように夢を叶えていきたいと思いました。

〔講師側〕

- ・ 生徒の方々の積極的な姿勢に感銘を受けました。
- ・ 授業後の学生からの発表の場においても「仕事」ということを自身に置き換え真剣に捉えている学生が非常に多かったと感じ、レベルの高さを実感しました。
- ・ 「仕事」をどうとらえるか、自分の中で再度考えるきっかけを与えていただきました。モチベーションアップになりました。

○主な感想（第4回）田島中学校

〔生徒側〕

- ・ 私は働くということに、大変だけど自分に合った仕事を見つけその仕事はとても楽しいというイメージをもちました。
- ・ はじめは大変だと思ったけど、やりがいがあることも知れて仕事が楽しみになったし、話を聞いて将来に活かしていきたい！
- ・ 働くとは、お金をもらうためじゃなく、社会のため、みんなの幸せのためにすることだなと思いました。

〔講師側〕

- ・ 普段、触れ合う機会の少ない学生と働くについて話すことができて新鮮でした。
- ・ メモすることばかりに気を取られることなく、講師の方に顔を向けて話を聴いてくれて良かったです。
- ・ 真剣な眼差しで、授業を聞く姿が非常に印象的でした。社員研修でも同様ですが、動画などは特に注視していた様に思います。改めて人に伝える（教える）難しさを感じ、自身の勉強にもなりました。

○主な感想（第5回）京町中学校

〔生徒側〕

- ・ モチベーションは人によっては違うけど、仕事はお金のためだけじゃないんだなと思いました。はたらくことはそこまで苦じゃないんだなと思いました。
- ・ 「面白い」ということから「自信」につながり「やりがい」になる、というのが良いと思いました。

〔講師側〕

- ・ 授業に対して非常に熱心にのぞんでくれる生徒さんがいらっしやって、皆さんへのキャリアについて良い影響を与えられた実感がわきました。
- ・ 思った以上に生徒の皆さんが真剣に聴いて下さったことがとても印象的でした。

○来年度の実施校について

川崎区内の市立中学校に事前調査をしたところ、9校（今年度7校）から希望があり、部会で検討した結果、希望があった9校で実施する方針が確認された。

来年度実施予定校

臨港中、川中島中、桜本中、南大師中、渡田中、川崎高等学校附属中、田島中、京町中、富士見中

●意見交換会の実施

2月14日（月）、中学校出前授業参加企業・団体の講師等13名及び実施校教諭2名により、意見交換会を行った。

授業を振り返るとともに次年度に向けての課題などについて意見交換会を行った。

(2) 生活市民と企業市民の交流につながるイベント

「知ろう！ 学ぼう！ かわさき企業市民交流Day」の実施

昨年度までの取組みを踏まえ、オープンスペースを活用した、より多くの区民（市民）の方を対象に川崎区で操業する企業の魅力や技術を直接感じてもらう場の提供、交流する機会の場を設けることが出来るようなイベントを実施。令和3年度においては、会場である川崎ルフロンに共催として関わってもらい、連携した取組を併せて行った。

○日 時 11月23日（火・祝） 10時30分～15時00分

○場 所 川崎ルフロン 1階イベントスペース

○来場者 約400名（昨年度 約300名）

○内 容

①体験型プログラム（申込制）

- ・ガス管を使って万華鏡を作ってみよう！定員12名

（協力）東京ガス(株)川崎支店

（参加者）22名（2回実施） ※応募者 158名

②応募期間及び方法

10月1日～11月12日を応募期間とし、区ホームページ専用フォームで応募。

③パネル展示コーナー及びSDGsクイズラリー

（参加企業等）京浜急行電鉄（株）、川崎鶴見臨港バス（株）、ENEOS(株)川崎製油所、東京ガス(株)川崎支店、（株）JERA川崎火力発電所／東京電力パワーグリッド（株）、(NPO)かわさき歴史ガイド協会、(NPO)産業・環境創造リエゾンセンター、(公財)かわさき市民活動センター、



（参加者） 247名（クイズラリー参加用紙配布数）

- ④オープニングコンサート
（演奏）川崎市消防音楽隊



- ⑤その他
・川崎駅周辺探索探検ガイドツアー（NPO 法人かわさき歴史ガイド協会協力）
14名参加



○運営協力

- ・出店いただいた各社・団体のほかに、NTT東日本川崎支店の阿川委員と株式会社JFEスチールの須田委員がイベント開催運営協力

○広報

市政だより（川崎区版）10月1日号、11月1日号、区内小学校全児童・中学校全生徒にチラシ配布、川崎区役所ホームページへの掲載

■ネットワーク活動・情報発信等

「ほっとネット」の発行

No.224（11/10）

- ・川崎臨海部の夢発見！バスツアーのご案内
※区内小学校4～6学年全児童に配布

■かわさき産業ミュージアム関連事業の実施（委員会協力関連事業）

川崎区では、ものづくり技術と文化の継承・発展を目指し、川崎区全域を展示場に見立てた分散型産業ミュージアム構想に基づき、「かわさき産業ミュージアム推進事業」を展開

令和3年度はこの事業の一環として、ウォーキングツアーの実施や、過去の歴史を学ぶだけでなく川崎の今後を見据えた講座などを実施。

■かわさき産業ミュージアム講座及びツアー

（1）ウォーキングツアー

令和2年7月に発行した「宝物ウォーキングガイドブック」のコース6「浜川崎駅周

辺を歩こうコース」を歴史ガイド付きで巡るウォーキングツアー。浜川崎周辺の宝物として THINK (テクノハブイノベーション川崎) の見学も併せて行い、臨海部に立地する企業、頑張っているベンチャー企業、研究施設、歴史的背景なども含めて紹介を行いました。また、コースでは紹介していない地域の歴史的な見どころの紹介も行った。

日 時 10月11日(月・かわさき家庭と地域の日) 13時～16時

場 所 ①田島支所(集合)→②姥ヶ森弁財天と井戸→③THINK の見学→④コリアタウンのゲート→⑤桜堀跡(水門通り・自然堤防)→⑥桜本商店街(九福神の紹介)→⑦大島八幡社(解散)(→大島劇場の紹介)

講 師 JFEグループ社員・NPO 法人かわさき歴史ガイド協会

参加者 30人(事前応募37人以上)

(2) キングスカイフロントエリアの今後をテーマとした未来志向の講座

「未来志向」をテーマに、殿町のキングスカイフロントにおける先進事例(ナノ医療イノベーションセンターでの、今後の医療分野での活用を見据えた遺伝子レベルの研究)を紹介いただきました。また、今年度開通予定の多摩川スカイブリッジも工事広報館から見学しました。

日 時 11月2日(火) 13時～16時

場 所 LiSE 会議室・羽田連絡道路工事広報館

講 師 ナノ医療イノベーションセンター 副センター長 岩崎廣和氏

〃

副主幹研究員 内田智士氏

市建設緑政局羽田連絡道路建設担当

参加者 39人(事前応募49人以上)

(3) 企業の歴史

「かわさき長寿企業②(川崎商工会議所編集)」に掲載されているユースキン製薬株式会社(1955年創業、川崎区貝塚1丁目)の企業史及び事業展望などを御紹介する講座内容。またユースキン製薬のハンドクリームなどを使ったスキンケアの体験会も併せて実施した。

テーマ 肌と心と社会にうるおいを。ユースキン製薬のファンづくり。

日 時 11月30日(火) 15時～17時

場 所 東海道かわさき宿交流館

参加者 32人

(4) 地域史講座

富士通スタジアム川崎に御協力いただき、かつてはプロ野球のホームグラウンドであった歴史の紹介も含め川崎球場の歴史について紹介予定。富士通スタジアム川崎の見学も(ギャラリーやスタジアム内など)。

テーマ 「聞いて見て語って知る川崎球場の過去・現在・未来」

日 時 2月13日(日) 14時～16時

場 所 富士通スタジアム川崎かわQホール

参加者 44人

II 資料

川崎区企業市民交流事業実施要綱

(事業の目的)

第1条 川崎区において、企業の地域社会への貢献活動の機運を高めるとともに、企業・市民・行政の三者が連携して生活市民と企業市民の交流の場づくりを取り組んでいくことを目的とした川崎区企業市民交流事業（以下「企業市民交流事業」という。）を実施する。

(実施内容)

第2条 実施内容については、次に定めるものとする。

- (1) かわさきの宝物（以下「宝物」という。）を発掘し、宝物を活用した取組みを行うとともに、川崎区の地域資源を広く区内外に周知していく。
- (2) 産業ミュージアム関連事業の普及に向けたイベントや行事等を行う。
- (3) 企業や市民が行う社会貢献活動をより積極的に展開するため、様々な支援及び事業等を実施する。
- (4) 川崎区企業市民交流事業を効果的に周知するため、積極的な広報・啓発を行う。
- (5) その他、企業市民交流事業の目的を達するための取組みについて必要と認められる事業を行う。

(推進委員会の設置)

第3条 企業市民交流事業の企画、運営などを行うため、「川崎区企業市民交流事業推進委員会」（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(推進委員会の構成)

第4条 推進委員会は、川崎区内の市民団体及び企業市民等をもって構成する。

(業務の委託)

第5条 企業市民交流事業は、推進委員会に委託することができる。

(庶務)

第6条 推進委員会の庶務は、川崎区役所まちづくり推進部地域振興課において処理する。

附 則

この要綱は、平成7年6月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年12月20日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年1月5日から施行する。

川崎区企業市民交流事業推進委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 川崎区企業市民交流事業実施要綱（以下「実施要綱」という。）第3条に基づき、生活市民と企業市民の交流の場づくりを企業・市民・行政の三者が連携して取り組むため、川崎区企業市民交流事業推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 川崎区企業市民交流事業（以下「企業市民交流事業」という。）が掲げる目的を達成するための各種事業等について、検討及び調査等を行う。
- (2) その他企業市民交流事業の推進に必要な事項に関することを協議、対応する。

(構成)

第3条 推進委員会は、実施要綱第4条に基づき、区長が就任を依頼した者をもって構成する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 推進委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、推進委員会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会計及び会計監査)

第6条 会計は1名、会計監査は2名置き、委員の互選により定める。また、会計及び会計監査の職務は次のとおりとする。

- (1) 会計は、委員会の会計を処理する。
- (2) 会計監査は、委員会の会計を監査する。

(会議)

第7条 推進委員会は、委員長が必要に応じて招集し、会議の議長となる。

- 2 推進委員会は、その職務を行うため必要と認めるときは、関係者からの資料の提出若しくは説明又は意見を聞くことができる。

(部会)

第8条 推進委員会は、必要に応じて部会を置くことができる。

- 2 部会は、委員等によって構成し、推進委員会が所管する事項に関する企画提案や課題検討等を行うものとする。

- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選により定める。
- 4 部会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。
- 5 部会長は、企画提案や検討課題等の経過及び結果を推進委員会に報告するものとする。

(庶務)

第9条 推進委員会の事務局は、川崎区役所まちづくり推進部地域振興課において処理する。

- 2 推進委員会の事務局長は、川崎区役所まちづくり推進部長をあてる。
- 3 推進委員会の事務局長は、推進委員会の決定に基づき、事務を所掌する。

(その他必要な事項)

第10条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成7年6月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成11年6月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年1月5日から施行する。

川崎区企業市民交流事業 これまでの活動経過

年度	テーマ	委員会	主な実績
平成4年度		企業市民交流調査(各界代表者)座談会開催	
平成5年度		企業市民交流調査(企業・団体の青年層)座談会	
平成6年度		「企業市民と共生した文化的まちづくり」を考えるフォーラム開催 企業市民交流調査報告書を発行	
平成7年度		「企業市民交流事業推進委員会」発足(6月) 「インタラクティブかわさきネットワーク」発足(11月)	
平成8年度	ボランティア活動のプログラム開発		○フォーラムの開催(～24年度)※20年度除く ○報告書の作製(～24年度) ○臨海部の夢発見!親子バスツアー ○情報紙「ほっとネット」を発行
平成9年度	企業は学校教育にどのように協力できるか		
平成10年度	企業は学校教育にどのように協力できるか		○企業探検バスツアー(～14年度) ○「開かれた川崎区の企業(学校編)」を発行
平成11年度	環境とリサイクルの分野で企業市民と生活市民がどのように協働できるか		○「新聞の作り方教室」(神奈川新聞社協力) ○「椅子の張替教室」(㈱キルト工芸協力)(11・12年度) ○「少年野球教室」(㈱東芝・野球部協力)
平成12年度	環境とリサイクルの分野で企業市民と生活市民がどのように協働できるか		○「みんなでつくろうエコタウンかわさき」に向けての環境提言書の発行
平成13年度	かわさきの宝物さがし		○川崎臨海部運河ツアー(13・14年度)
平成14年度	かわさきの宝物さがし		○「川崎区宝物が「ト」マップ」の作成 ○「かわさき産業ミュージアム構想」の策定(川崎区産業ミュージアム専門委員会に協力)
平成15年度	かわさきの宝物活用		○産業ミュージアム実験見学会
平成16年度	かわさきの宝物活用		○産業ミュージアムバスツアー ○「かわさきの宝物めぐり『YOU遊バス』」の運行 ○「かわさき産業ミュージアムガイドブック2005年版」発行 ○「市バス1日乗車券活用宝物散策コース」発表

年度	テーマ	委員会	主な実績
平成17年度	かわさきの宝物活用		<ul style="list-style-type: none"> ○産業ミュージアムホームページ開設 ○「かわさき産業ミュージアム講座」実施 ○「かわさきの宝物PRバスツアー(教員・生徒編)」実施(～19年度) ○「川崎区宝物ガイドマップリニューアル版」の発行 ○「かわさき産業ミュージアムガイドブック2006年版」発行 ○「かわさきの宝物ペーパークラフト」の作成
平成18年度	かわさきの宝物活用		<ul style="list-style-type: none"> ○「かわさき産業ミュージアムガイドブック」改訂版の発行 ○ディスカバリーかわさき～かわさき区宝物シート～製作 ○かわさきの宝物ホームページ開設
平成19年度	かわさきの宝物活用		<ul style="list-style-type: none"> ○写真展「工都川崎と子どもたち—1960年代の工業地帯」
平成20年度	かわさきの宝物活用		<ul style="list-style-type: none"> ○エコバッグの企画
平成21年度	工都かわさきの過去を学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○川崎区における社会貢献活動調査
平成22年度	工都かわさきの過去を学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○CSRスキルアップセミナーの実施 ○ディスカバリーかわさき(HP版)リニューアルの実施(新しいかわさきの宝物の発掘)
平成23年度	工都かわさきの過去を学び、いまを活かし、未来を見つける	「企業市民交流事業推進委員会」及び「インタラクティブかわさきネットワーク」の組織見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○社会貢献活動スキルアップセミナー ○宝物ガイドマップ改訂版発行
平成24年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける	「企業市民交流事業推進委員会」に一本化。部会制への移行。公募委員の募集	<ul style="list-style-type: none"> ○東海道かわさき宿交流館開館PRにペーパークラフトを活用 ○バスツアーの回数増
平成25年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○かわさき産業ミュージアムバスツアーと講座の連動企画実施
平成26年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○京町中学校出前授業の実施(新規) ○「かわさき産業ミュージアムガイドブック」改訂版発行 ○宝物ガイドマップ改訂版発行 ○ペーパークラフト企画として、子どもが楽しめる「遊べるクラフト」(カライドサイクル、ノマキューブ)を制作
平成27年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける	社会貢献推進部会の新設(産業ミュージアム部会の廃止)	<ul style="list-style-type: none"> ○「企業市民による中学校出前授業」の本格実施 ○川崎区企業市民交流事業研究会「企業市民カフェ」の開催 ○「かわさき区の宝物シート」の更新
平成28年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○「企業市民による中学校出前授業」を2校で実施 ○ペーパークラフト企画として「ポップアップカード(かわさき工場夜景)」を制作(新規) ○「知ろう!学ぼう!かわさき環境day」の開催(新規) ○「かわさき区の宝物」PR動画「歩いてみました!かわさき区の宝物さんぽ」を川中島中学校放送部と連携して制作(新規) ○「かわさき区の宝物」投票の実施(新規) ○「川崎市役所本庁舎さよならイベント」との連携した「かわさき産業ミュージアム講座・ツアー」の実施
平成29年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける	課題別の2部会に再構成(魅力発信部会、交流推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ○ペーパークラフト企画としてポップアップカード「臨海部・キングスカイフロントの風景」を制作 ○交流イベント「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流day」を商業施設のイベントスペースで開催 ○京急創立120周年に合わせた「かわさき産業ミュージアムツアー」の実施

年度	テーマ	委員会	主な実績
平成30年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○「企業市民による中学校出前授業」を3校で実施(拡充) ○ペーパークラフト企画としてポップアップカード「多摩川を渡る川崎区の鉄道」を制作 ○交流イベント「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流day」を商業施設のイベントスペースで開催 ○川崎区の宝物や区内で操業する企業を広くPRするため、小学生向け自由研究のテーマとしての情報をとりまとめ、川崎区HPで紹介(新規)
令和元年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○「企業市民による中学校出前授業」を5校で実施(拡充) ○かわさき区宝物ガイドマップを改訂、川崎区ウォーキングガイドブックと統合する形で制作。 ○交流イベント「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流day」を商業施設のイベントスペースで開催 ○川崎区の宝物や区内で操業する企業を広くPRするため、小学生向け自由研究のテーマとしての情報をとりまとめ、川崎区HPで紹介
令和2年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○「企業市民による中学校出前授業」を5校で実施 ○「かわさき区魅力発見宝物ウォーキングガイドブック」を発行。 ○交流イベント「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流day」を商業施設のイベントスペースで開催 ○川崎区の宝物や区内で操業する企業を広くPRするため、小学生向け自由研究のテーマとしての情報をとりまとめ、川崎区HPで紹介
令和3年度	歴史文化のまちかわさきの過去に学び、いまを活かし、未来を見つける		<ul style="list-style-type: none"> ○「企業市民による中学校出前授業」を5校で実施 ○「かわさき区魅力発見宝物ウォーキングガイドブック」を増刷。 ○交流イベント「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流day」を商業施設のイベントスペースで開催

■かわさき区の宝物クラフト これまでの制作物(テーマ)

平成30年度:ポップアップカード「多摩川を渡る川崎区の鉄道」
 平成29年度:ポップアップカード「臨海部・キングスカイフロントの風景」
 平成28年度:ポップアップカード「工場夜景」
 平成27年度:遊べるクラフト「川崎区を走る鉄道と川崎駅前の変遷」
 平成26年度:遊べるクラフト「かわさきの交通の歴史と臨海部の風景」
 平成25年度:川崎市営トロリーバスと市庁舎
 平成24年度:東海道川崎宿
 平成23年度:川崎市電 塩浜駅の風景
 平成22年度:かわさきの工場夜景
 平成21年度:川崎駅ものがたりー民衆駅の誕生
 平成20年度:京急発祥の地川崎大師駅と1000形車両
 平成19年度:六郷川鉄橋を渡る汽車と渡し舟

川崎区企業市民交流事業推進委員会

構成企業・団体等一覧

●参加企業（14）

セレサ川崎農業協同組合みなみ支店
東京電力パワーグリッド(株)川崎支社
東京ガス(株)川崎支店
N T T東日本川崎支店
J F E スチール(株)東日本製鉄所
(株)日本触媒川崎製造所
味の素(株)川崎事業所
昭和電工(株)川崎事業所
川崎信用金庫
(株)横浜銀行川崎支店
京浜急行電鉄(株)
川崎鶴見臨港バス(株)
E N E O S (株)川崎製油所
神奈川東部ヤクルト販売(株)

●参加団体（14）

川崎区連合町内会
川崎区まちづくりクラブ
(公財)かわさき市民活動センター
川崎商工会議所
(N P O) 産業・環境創造リエゾンセンター
(一社)川崎青年会議所
川崎駅広域商店街連合会
川崎区文化協会
川崎区スポーツ推進委員会
(N P O) かわさき歴史ガイド協会
川崎区社会福祉協議会
市立小学校長会川崎支部
市立中学校長会川崎地区
川崎区P T A協議会

●公募等区民（2）

令和4年3月

発行・編集／川崎区企業市民交流事業推進委員会

(事務局)

川崎区役所まちづくり推進部地域振興課

電話 044-201-3136 F A X 044-201-3209



かわさきく